学校名
 田村市立緑小学校
 校長
 伊藤昇

住 所 |福島県田村市船引町上移字根岸10番地

ふるさとを体験し

取組の概要

ふるさとから学ぶ



緑小は、田村市の北に位置する移地区にある全校児童44名の小規模校です。田村市は「地域が育て 地域で育つ 市民参加の教育」を掲げ、学校教育の充実を図っています。本校では、多くの地域の方々にいろいろな場面で関わっていただいています。「ふるさと移」を学ぶことが、地域で育つ人間としての確かな礎となるよう、様々な地域学習に取り組んでいます。

内 容



エゴマを育てよう

3,4年生は、地域の特産品であるエゴマを地域の方々のアドバイスをいただきながら育てました。秋の終わりには、小さなつぶつぶのエゴマの実が約2kg収穫できました。そこで、郷土料理のエゴマ入りがんづき(蒸しパン)の作り方を教えてもらい作ってみました。プチプチとした食感があってとてもおいしかったです。来年はもっとたくさん育てようとみんなで話し合いました。

日山に登った

本校は「緑の少年団」活動に長年取り 組んできました。今年の森林教室では直 接森林を体験しようと、校歌にもうたわれている日山登山に4,5,6年生が挑 戦しました。日頃から指導をいただいて る地域の「緑の指導員」さんたちのサポ ートを受けながら、植林された針葉樹の 急斜面を登り、自然のままの広葉樹の森 を進み、約4時間かけて頂上に着きました。展望台からは、「ふるさと移」が秋 の空のもと、緑いっぱいに広がっていま した。とても疲れましたが、仲間とふる さとのシンボルである日山を登り切っ たことは、「成すことで学ぶ」一日とな りました。



